

第6回 千代川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 議事概要

1 日時：平成31年1月9日（水） 15時00分～16時00分

2 会場：鳥取県庁 議会棟特別会議室

3 出席者

（委員）

鳥取市 （市長代理） 危機管理局長 乾 秀樹

鳥取県 （危機管理局局長代理） 危機管理局副局長 國米 洋一

鳥取県 鳥取県県土整備事務所 事務所長 福政 孝啓

気象庁 鳥取地方气象台 气象台長 川上 徹人

国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所 （事務所長代理） 副所長 片寄 秀樹

（オブザーバー）

八頭町 （町長代理） 防災室長 田井 信

4 議題

（1）H30.7月豪雨について

（2）取組内容のフォローアップ等について

（3）その他

5 議事概要

（1）H30.7月豪雨について

・H30.7豪雨時には逐次ホットラインによる技術的なアドバイスがあり大変助かった。また、迅速な排水ポンプ車の派遣も実施していただき大変助かった。

（2）取組内容のフォローアップ等について

- ・防災学習資料について、地震や土砂災害等も含めた様々な災害に対して応用可能な資料になるとより良い。今後、气象台としても出来ることを協力していきたい。
- ・参考にさせていただく。
- ・年末、鳥取県防災アプリ「あんしんトリピーなび」に関して、高校生による活用事例紹介等の会議を実施した。防災学習についても、将来的には小学生以外でも展開していくことが望ましい。
- ・多機関連携型タイムラインについて、参加機関はどの程度を考えているか教えてほしい。
- ・日野川の参加機関に準ずるレベルで考えている。H30.7豪雨時には情報がなかなか届かないといった課題もみられたため、情報の即時性としてマスコミ関係、対応の即時性として自衛隊等についても参加いただくことを考えている。

- ・排水計画について、排水期間はどの程度を考えているか教えてほしい。
- ・想定最大規模外力時における浸水継続時間は最大 3 日間程度である。社会経済被害の最小化の観点から、すみやかな排水を実現するための計画を検討していく。
- ・H30.7 豪雨をうけて、教育現場としても防災に対する意識が高まっている。今後も防災教育に関する取組みを推進して行ってほしい。

(3) その他

- ・次回協議会は平成 31 年度の出水期前を予定している。

以上